

わだいの特選

wadai-no tokusen CAMERA REPORT

花 大類花まつり の香りに誘われて！

4月16日、17日に大類グラウンドの東側で「大類花まつり」が開催されました。地元大類地区のボランティアにより丹念に育てられた色とりどりのチューリップやポピーが今年も色鮮やかに花をつけ、大勢の人が訪れました。会場では切り花の直売や、農産物・加工品の販売も行われました。また会場では、東日本大震災の義援金箱も設置されました。



新 もろっこサイクリング 緑を爽快に走り抜ける！



4月29日、青少年相談員協議会主催の「もろっこサイクリング」が、森林公園で行われました。当日は晴天に恵まれ、参加した町内13人の小学生は、相談員のお兄さん・お姉さんたちと一緒に、爽やかな新緑のなかを自転車で走り抜けました。また、青空の下でお弁当を食べたり、水の広場やアスレチック場で遊んだり、元気いっぱい楽しい一日を過ごしました。

もろ山歴史散歩 文化財シリーズ216 新規指定文化財の紹介① ～大類の獅子舞～

毎年10月第2日曜日、大類十社神社で獅子舞が行われています。獅子舞は現在も町内4か所で行われており、地域の人びとの秋の風物詩となっています。大類の獅子舞は他の3つの獅子舞、2つのお囃子とともに、町の貴重な民俗文化財として平成23年3月22日、毛呂山町指定文化財となりました。

獅子舞というと獅子頭の後に付けた胴幕に数人が入って舞うお正月の門付芸を思い出すかもしれませんが、毛呂山町を含む東日本に広く分布する獅子舞は、一人で獅子頭をかぶり、腹に太鼓をつけて叩きながら舞う「一人立ち」という獅子舞です。

一人立ちの獅子舞は3匹(頭)一組で、その内の1匹は女獅子、他の2匹は男獅子という形式が関東一円に広く見られます。毛呂山の獅子舞も同様で、大類の獅子舞では2匹の男獅子をそれぞれ「中獅子」・「法眼」と呼んでいます。

3匹の獅子舞は様々な舞を舞います。演目のことを「庭」といい、「オカザキ(岡崎)」や「サオガカリ(笹掛り)」などと呼ばれるものがあり、大類の獅子舞でも数庭舞います。

埼玉県内の獅子舞は昭和45年の調査によると200か所余り確認されています。川越を中心に埼玉県中部に広がる中央部系統の獅子舞は、長い庭が1〜2庭の少数曲形式の獅子舞で、反対に秩父地方を中心にした西部系統は庭数が多く、種類も多岐にわたる獅子舞が分布しています。

大類の獅子舞と町内の3つの獅子舞は、越生・日高とともに中央部系統と西部系統の中間にある、山麓系統に分類されています。4〜6庭ほどの庭を舞う山麓系統の形式は県内でも少なく、貴重な獅子舞といえるでしょう。

大類の獅子舞は、土俵を作って大人が獅子と、獅子の尊者であるハイオイも務め、勇壮な獅子を舞うことが特徴です。古式を守る獅子舞を継承する大類地区の貴重な伝統行事です。



大類の獅子舞